



発行 社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内 TEL 54-4540 FAX 51-1880

ホームページ <http://www.owariasahishakyo.jp/> 社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧いただけます。

福祉マインドフェア 尾張旭2023を開催



フラダンスグループ ハイビスカスのステージ発表



簡単な手話を教えます!



おもちゃ図書館で遊べるよ!

※福祉マインドフェア尾張旭2023の詳細内容は次のページをご覧ください。

contents (主な項目)

- 福祉マインドフェア尾張旭2023を開催します
- 公開プレゼンテーションによる助成事業
- 令和4年度社会福祉協議会事業報告及び決算
- ボランティアセンターからのお知らせ
- あさひ支えあいサロン開設助成事業
- あさひ生活応援サポーター養成講座のご案内
- 知るサポだよりNo.33
- 敬老肖像写真の贈呈
- らくらく脳の健康教室参加者募集
- 赤い羽根協力店の募集・紹介
- 寄付者一覧

福祉マインドフェア尾張旭2023を開催します

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

福祉マインドフェア尾張旭2023は、市内で活躍しているボランティア連絡協議会加入団体やボランティアセンター登録団体などが一堂に会して開催するもので、それぞれが日ごろから行っている福祉活動の紹介や発表をとおして、ボランティア活動の楽しさを体験していただけます。

また、福祉バザーやスタンプラリー、ステージ発表などの楽しいイベントも盛りだくさんです。たくさんのかたのご来場を心よりお待ちしております。ぜひ、お出かけください。

と き

8月5日(土)
午前10時～午後2時30分

ところ

渋川福祉センター

内容の一部をご紹介

福祉体験(音訳・点訳・手話・要約筆記・高齢者疑似体験)・バルーンアート・クラフト・子ども茶道教室・防災の啓発・福祉施設等作品展示即売など
※催し物の詳細は市の広報(8月1日号)と同時に全戸配布のチラシをご覧ください。

ボランティア募集 ～ご協力お願いします～

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

福祉マインドフェアの前日の準備や、当日の運営をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。たくさんのかたのご協力をお待ちしています。

- 活動日 8月4日(金) 午前8時30分～正午
8月5日(土) 午前9時～午後4時
- 募集期限 7月21日(金)まで ※土・日・祝日を除く
- 募集方法 社会福祉協議会または渋川ボランティアセンターに
電話か直接
- 問い合わせ先 社会福祉協議会または渋川ボランティアセンター



ボランティア活動の応援 ～バザー用品のご提供を～



▲マインドフェア2022福祉バザーの様子

福祉マインドフェアでは、ボランティア団体の活動を推進するために必要な備品を購入することを目的に、福祉バザーを開催しています。

皆さんのご家庭で眠っている雑貨・タオル・石鹸類・陶器類など(いずれも新品に限る)を、ぜひご提供ください。ただし、食品についてはお断りさせていただきます。

- 受付期限 7月31日(月)まで ※土・日・祝日を除く
- 受付場所 社会福祉協議会または渋川ボランティアセンター
- 受付時間 社会福祉協議会 午前8時30分～午後5時15分
渋川ボランティアセンター 午前9時～午後5時

福祉のまちづくり推進助成事業助成団体を決定

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

6月17日(土)に公開プレゼンテーションによる助成審査会を開催し、赤い羽根共同募金を財源とする福祉のまちづくり推進助成事業対象団体を決定しました。

助成金は、下表のとおりこどもから高齢者まで、地域に根差した福祉活動に幅広く活用していただきます。

<令和5年度 福祉のまちづくり推進助成事業 助成金額一覧表>

| No. | 団体名 | 事業名 | 助成金額(円) |
|-----|-----------------|--------------------|---------|
| ① | サロンアマビエ「出前カラオケ」 | 歌声広場(「出前カラオケ」) | 60,000 |
| ② | 「コルミッコ」 | 子育て支援・相談カフェ「コルミッコ」 | 80,000 |
| ③ | 男性ボランティア活動研究会 | じいじとあそぼ | 80,000 |
| 計 | | | 220,000 |

令和4年度社会福祉協議会事業報告及び決算

6月7日に理事会、同22日に評議員会を開催し、令和4年度の事業報告と決算が承認されました。

■ 事業報告 ■

法人運営事業

理事会4回/評議員会3回/監査会1回/会員募集事業(一般2,346件、法人145件)/地域福祉活動計画推進会議1回

企画・広報事業

社会福祉大会開催(280人)/福祉マインドフェア尾張旭開催(226人)/社協だより発行(年4回、全戸配布)

福祉のまちづくり事業

校区社会福祉推進協議会助成(9校区、委員数677人)/ボランティア連絡協議会加入団体助成(23団体)/障がい者団体等支援(1団体)/ボランティア給食サービス(75歳以上のひとり暮らし高齢者延べ716食)/福祉協力校助成(全小・中学校、旭野高等学校)/福祉実践教室開催(9校、1,007人)/福祉教育講座開催(2回、22人)/災害ボランティアコーディネーター養成講座開催(32人)/フードドライブ事業(年2回)

車いす等貸出事業

車いす貸出(延べ650台)/車いす専用車貸出(49件)

ボランティアセンター事業

ボランティア相談(146件)/ボランティア登録(67団体1,550人、個人36人、22施設)/クッキングボランティア講座開催(12人)/ガイドヘルプボランティア養成講座開催(10人)/ボランティアスキルアップ講座～オンラインツール初級編～(5人)/ボランティアサロン開催(12回、延べ127人)

共同募金配分金事業

敬老肖像写真贈呈(80歳以上夫婦5組、90歳以上長寿者8人)/シニアクラブ連合会事業支援/高齢者サロン助成(4か所)/点訳・音訳・要約筆記サービス事業支援/おもちゃ図書館開設/社会を明るくする運動支援/私立幼稚園・保育園図書購入助成(9園)/民間学童クラブ助成(6施設)/子育てサロン支援(2か所)/子ども食堂支援(2か所)/福祉のまちづくり推進助成事業(2団体)/テーマ設定型事業(車いす15台購入)/要保護・準要保護家庭児童支援

(699人)/児童養護施設の支援(69人)/活動助成団体及び施設(各校区社会福祉推進協議会、ジュニアリーダーズクラブ、ボーイスカウト、ガールスカウト、交通少年団、ひまわり、くすの木、ちーとい、アトリエひまわり、ジョブウェル、ひまわりホームⅡ、にこまる、よつ葉ハウス、心暖、ゼロファースト、ホワイトB、ほまれの家尾張旭店、たいようの家、わおんプレミア、IPPO、このき尾張旭校、チャイルドサポート～森のまち～、おこめ、そらのとり、児童発達支援glee尾張旭教室、障がい児通所施設Flocorir、障がい児通所施設Flocorir fit、くろーばー、ミロアール、大和荘)

資金貸付事業

生活福祉資金貸付相談(456件)/ひまわり資金貸付相談(56件)/生活困窮者支援(フードバンク利用48回)

脳の健康教室運営事業(8人)

紙おむつ給付事業(826人)

日常生活自立支援事業

相談(4件)/利用者(11人、支援活動延べ295回)

生活支援コーディネーター事業

あさひ生活応援サポーター登録(96人)/あさひ生活応援サービス事業利用(延べ212件)/あさひ生活応援サポーター養成講座開催(3回、21人)/あさひ支えあいサロン開設助成(2か所)

居宅介護支援事業

介護サービス計画作成(延べ1,518件)/介護予防計画作成(延べ280件)

地域包括支援センター事業

高齢者総合相談(延べ8,564件※うち、虐待・虐待の疑いを含む件数延べ673件)/認知症サポーター養成講座(15回、延べ822人)/地域ケア会議(個別地域ケア会議4回、ケアマネジメント支援地域会議6回)/あさひ介護者のつどい(4回、延べ29人)

認知症初期集中支援推進事業

チーム会議(11回)/支援対象者(7人※うち2人は支援継続)

指定介護予防支援事業

介護予防プラン請求(包括作成延べ4,770件、委託延べ5,971件)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった事業

ウェルフェアボウリング大会支援

■ 令和4年度 社会福祉協議会 収支決算 ■

収入 238,415,349円 支出 226,408,066円
差引 12,007,283円(令和5年度繰越金)

| 収入 | (単位:円) | 支出 | (単位:円) |
|-------------------|-------------|----------------|-------------|
| 収入計 | 238,415,349 | 支出計 | 226,408,066 |
| 会費 | 3,362,000 | 社会福祉事業 | |
| 寄附金 | 2,387,962 | 法人運営事業 | 72,005,162 |
| 経常経費補助金 | 67,949,056 | 企画広報事業 | 1,532,401 |
| 市補助金 64,151,473 | | 福祉のまちづくり事業 | 4,726,702 |
| 共同募金配分金 3,750,583 | | ボランティアセンター事業 | 5,808,080 |
| 県社協補助金 47,000 | | 共同募金配分金事業 | 5,004,928 |
| 受託金 | 96,904,491 | 資金貸付事業 | 4,445,141 |
| 市受託金 91,244,600 | | 日常生活自立支援事業 | 491,376 |
| 県社協受託金 4,459,091 | | 生活支援コーディネーター事業 | 7,370,318 |
| その他 1,200,800 | | その他 | 781,244 |
| 貸付事業 | 319,000 | 公益事業 | |
| 介護保険事業 | 48,616,995 | 居宅介護支援事業 | 26,008,031 |
| 基金・積立金取崩収入 | 7,272,353 | 地域包括支援センター事業 | 98,234,683 |
| 前期末支払資金残高(前年度繰越金) | 10,530,717 | | |
| その他 | 1,072,775 | | |

※収入については、勘定科目ごとに、支出については事業内容ごとにそれぞれ取りまとめて掲載しております。

ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

ボランティア保険のご案内

ボランティア活動保険は、国内におけるボランティア活動中にボランティア本人がケガをした場合（病気は

補償の対象外）や、他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償が生じた場合などに幅広く補償します。

また、ボランティア団体などが主催する行事参加中に参加者が事故

でケガをした場合（熱中症・食中毒も対象）や、主催者が法律上の賠償責任を負った場合を補償する、ボランティア行事用保険もあります。ぜひご加入ください。

ボランティアサロンのご案内

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動をされているかたを対象に「ボランティアサロン」を右表のとおり毎月1回開催しています。

○申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

<8月・9月・10月のボランティアサロン>

| と き | 8月23日(水) 午後1時30分～3時30分 | 9月19日(火) 午後1時～3時 | 10月25日(水) 午後1時30分～3時 |
|------|---------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| と ころ | 渋川福祉センター 3階 運動室 | 渋川福祉センター 2階 和室 | 渋川福祉センター 1階 ボランティア室 |
| 内 容 | じいじと風船と あそぼ!! | 笑顔でフラダンス ～楽しみながら リフレッシュ～ | 朝たんのすすめ ～朝からたんぱく質 を摂ろう～ |
| 講 師 | 男性ボランティア 活動研究会 | フラダンスグループ ハイビスカス | 尾張旭市健康づくり 食生活改善協議会 |
| 参加費 | 無料 | 無料 | 無料 |
| 定 員 | 30人 | 20人 | 15人 |

令和5年度尾張旭市ボランティア連絡協議会総会を開催しました



▲長谷川会長による議事の進行

5月26日(金)に渋川福祉センターでボランティア連絡協議会の総会が開催されました。

当日は、加入団体の会員約70人が出席し、前年度の事業報告・収支決算、今年度の事業計画・収支予算を決議しました。

また、総会終了後には、男性ボランティア活動研究会と尾張旭障がい児者家族ネットワーク ウィッシュの皆さんから日頃のボランティア活動について発表していただきました。

令和5年度ボラ連顧問・役員(敬称略)

| | |
|-----|-----------------------------|
| 顧 問 | 音訳グループ あけぼの会 丹羽 睦 |
| 会 長 | 日本赤十字社尾張旭市地区奉仕団 長谷川 裕子 |
| 副会長 | うさぎの会 伊藤 美佐子 |
| 副会長 | ガールスカウト愛知県第99団 岡本 京子 |
| 書 記 | 手話サークル あさひ 西村 由美子 |
| 会 計 | あさひ歌謡会 鈴木 善子 |
| 監 査 | 尾張旭市健康づくり食生活改善協議会 石井 トシ子 |
| 監 査 | ボーイスカウト尾張旭第1団 林 緑 |

※任期は、令和6年度まで

令和5年度尾張旭市校区社会福祉推進連絡協議会総会を開催しました

6月5日(月)に渋川福祉センターで校区社会福祉推進連絡協議会の総会が開催されました。

当日は、各校区から約60人が出席し、前年度の事業報告・収支決算、今年度の事業計画・収支予算を決議しました。

また、総会後は、白鳳校区社会福祉推進協議会の皆さんより白鳳校区で取り組まれている様々な福祉事業や、地域のつながりについて発表していただきました。

令和5年度校区連協役員(敬称略)

| | |
|-----|----------------------------|
| 会 長 | 旭丘校区社会福祉推進協議会会長 森 喜美 |
| 副会長 | 白鳳校区社会福祉推進協議会会長 野村 治 |
| 副会長 | 城山校区社会福祉推進協議会会長 若杉 満 |
| 副会長 | 三郷校区社会福祉推進協議会会長 森 繁美 |
| 書 記 | 東栄校区社会福祉推進協議会会長 岡 啓一 |
| 書 記 | 渋川校区社会福祉推進協議会会長 塚本 恭久 |
| 会 計 | 旭校区社会福祉推進協議会会長 三浦 義文 |
| 監 事 | 本地ヶ原校区社会福祉推進協議会会長 佐藤 信男 |
| 監 事 | 瑞鳳校区社会福祉推進協議会会長 加藤 守松 |

※任期は、令和6年度まで



▲森会長のあいさつ



▲白鳳校区社会福祉推進協議会による活動報告

地域のサロン活動の立ち上げを応援します!

～あさひ支えあいサロン開設助成事業～

この助成事業は、地域の高齢者やその介護者などの閉じこもりや孤立を防ぐため、集会所・ふれあい会館・個人宅などの場所を活用し、地域の皆さんによる出会いの場づくりを支援します。

【助成対象活動】市内で行う、次の要件のすべてを満たすサロン活動の立ち上げに対し、開設資金を助成します。

- ①実施回数:原則として、月1回以上
- ②活動内容:参加者の実情などに応じた多様な活動
- ③参加者数:概ね5人以上
- ④会場:公民館などの公共施設や個人宅など多様な形態で可
- ⑤参加対象者:活動地域に在住し、交流や見守りが必要と思われる高齢者やその家族など

【助成金額】1か所につき、上限5万円

サロン活動紹介⑭

【^{さえず}轉りの会】

令和5年3月に本事業を活用していただきました。



①活動拠点 ②活動日時 ③参加費 ④活動内容 ⑤目的・特色

- ①代表者宅(桜ヶ丘町)
- ②毎月1回第2月曜日 午前10時30分～午後3時30分
- ③必要に応じて
- ④コーヒーやお茶を飲みながら懇談、自由におしゃべりして楽しく交流、昔なつかしのDVD鑑賞など
- ⑤地域の高齢者等が「轉りの会」に集うことで、生きがいづくりや健康づくり、仲間づくりの促進を図ることを目的に開催しています。皆さんぜひご参加ください。

あなたの思いやりとやさしさを地域の高齢者にお届けしてみませんか!

令和5年度“あさひ生活応援サポーター養成講座”のご案内

参加費
無料

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

本会では、地域の高齢者のちょっとした困りごとをお手伝いする生活応援サポーターを養成するため、下表のとおり講座を開催します。どなたでも受講できますので、ぜひご参加ください。なお、生活応援サポーターの登録は任意です。

| 開催回 | | | 第19回 | 第20回 |
|-------------|-------------|--------|----------------------|-----------------------|
| 内容及び開催日等 | 1 日 目 | 【趣旨説明】 | 「生活支援で人にやさしいまちづくり」 | |
| | | 【活動発表】 | 10月12日(木) | 2月7日(水) |
| | | 【交流会】 | | |
| | 2 日 目 | 【講義1】 | 10月19日(木) | 2月14日(水) |
| | | 【講義2】 | | |
| | 3 日 目 | 【講義3】 | 10月26日(木) | 2月21日(水) |
| 【修了式】 | | | | |
| 各開催回の申込受付期間 | | | 6月1日(木)～ 10月5日(木) | 10月6日(金)～ 1月31日(水) |

会場 保健福祉センター4階シアタールーム

開催時間 午前10時～正午

定員 先着15人

申し込み方法 社会福祉協議会に電話か直接

【申し込み及び問い合わせ先】 生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川) TEL 55-7071

知るサポだより

No.33

～尾張旭市地域包括支援センター～

「介護マーク」をご活用ください



「介護マーク」は、介護をする人が、介護中であることを周囲に理解していただくため、静岡県で考案されたものです。厚生労働省としても、各自治体を通じて「介護マーク」の普及を図っています。

高齢者が増加している中、介護を必要とする人も増えてきています。特に認知症の人の介護は、他の人から見ると介護していることが分かりにくいいため、周囲から偏見や誤解を受けることがあります。

例えば「駅やサービスエリアなどのトイレで付き添うとき」、「男性介護者が女性用下着を購入するとき」、「病院で診察室に入る際、一見介助が不要に見えるのに2人で入室するとき」など、周囲の人にとっては不自然な行為に思われがちです。介護していることを周囲にさりげなく知ってもらいたいときにご利用いただけます。

外出先でこのマークを見かけた際には、あたたかく見守り、必要であれば手助けするなど、ご理解とご協力をお願いいたします。

○「介護マーク」の配布対象者

認知症高齢者など介護を要する人を介護している人

○「介護マーク」の入手方法

市役所長寿課または地域包括支援センターで申請していただくと、

その場で「介護マーク」をお渡しします。

認知症ケアパスをご活用ください

○認知症ケアパスとは



認知症ケアパスとは、認知症の進行や状態に応じて、いつ・どこで・どのようなサービスを利用できるのかを整理しまとめたもので、各市町村で独自に作成しています。尾張旭市では、認知症になってもこの地域で安心して暮らしていく「たすけ」となるようにとの思いを込め、「認知症おたすけパス」と呼んでいます。

「認知症おたすけパス」は市役所長寿課と地域包括支援センターでお渡ししています。市のホームページからもダウンロード可能です。

○「認知症おたすけパス」の掲載内容

令和5年春に「認知症おたすけパス」の内容を大幅に改訂しました。主な掲載内容は次のとおりです。

- ◎認知症についての基礎知識
- ◎認知症の診察を受けたいときの受診先
- ◎認知症の経過に応じて利用できる支援
- ◎認知症の経過と対応（時期）

TEL 55-0654(直通)

別の本人の様子や症状・本人の思いや感じ方・周囲の人の接し方のポイント・家族や周りの人の心がけ)

◎高齢者に関する主な相談先

○認知症は身近な病気です

認知症は、誰もが関わる可能性のある、身近な病気です。怖がったりあきらめたりするのではなく、正しく知って、地域の資源を活用しながら自分らしく生活することが大切です。住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう、「認知症おたすけパス」をお役立ていただき、心配事や使いたいサービス等があれば、地域包括支援センターにご相談ください。

認知症サポーター養成講座を開催します



認知症有病率に基づく推計によると、いわゆる団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者となる「2025年」には、65歳以上高齢者の約5人に1人は認知症になると推計されており、認知症は、わたしたちにとって決して他人事ではなく、とても身近な問題であるといえます。

できるだけ認知症を予防しながら歳をとりたいところですが、いざ自分事として向き合うことになったときに、困ったり慌てたりすることが無いようにしておきたいものです。たとえ認知症になったとしても、

周囲の人たちに基本的な病気の理解や対応方法の知識があれば、誰もが穏やかに暮らし続けることは可能です。

認知症が現れ始めても安心して暮らし続けるためには、周囲の人が認知症を正しく理解し、自身や家族をあたたく見守り支えてくれ

る環境が必要です。

認知症サポーター養成講座ではDVDの視聴を交えて、認知症の症状やその対応を分かりやすく説明します。

認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域になるよう、皆様のご参加をお待ちして

います。

○開催日時

令和5年7月22日(土)
午前10時～11時30分

○場所

中央公民館 302 会議室

○問い合わせ先

地域包括支援センター

| 敬老肖像写真を贈呈します | | 対象者や写真内容など | | | | |
|---|-------------------------------|---|-------|--------|--------------------------|--|
|  <p>▲昨年贈呈した浦様ご夫妻 赤い羽根共同募金の配分金事業の一つとして対象の希望者に、長寿を祝い、敬老の日に合わせ肖像写真を贈ります。</p> <p>○申し込み及び問い合わせ先 社会福祉協議会</p> | 対象 | ①昭和8年生まれで今年満90歳を迎えるかた ②どちらかが昭和18年生まれで今年満80歳を迎え、二人とも80歳以上となられるご夫婦 ※市内に居住し、①②ともにご自宅で写真撮影可能なかたに限ります。 | | | | |
| | 写真内容 | ①の対象者 四つ切りサイズ(25.4cm×30.5cm)・カラー・アルミ製額 ②の対象者 半切サイズ(35.6cm×43.2cm)・カラー・アルミ製額 | | | | |
| 実施方法 | 8月中旬に自宅にて撮影し、「敬老の日」までにお届けします。 | | | | | |
| 費用 | 無料 | 申し込み方法 | 電話か直接 | 申し込み期限 | 7月28日(金) ※土・日曜日、祝日を除く | |

| 脳トレで認知症予防「脳の健康教室」でらくらく楽習 | | あさひ健康マイスター チャレンジ 対象事業 | | |
|--|---|-----------------------------|-----------------------|--|
| 東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太氏が提唱する「読み書き」「計算」「すうじ盤」の教材を使った脳の健康教室を開催します。 脳のリフレッシュのため、教材を利用した楽習だけでなく、毎回教室サポーターによるおもてなしと交流会もあります。 | | | | |
| ▲教室で使用する楽習教材 | | ▲「すうじ盤」で脳を活性化 | | |
| と き | 9月26日(火)～令和6年2月6日(火) 毎週火曜日(全18回)午前10時～11時30分 ※12月26日(火)、1月2日(火)を除く | | | |
| と ころ | 尾張旭市保健福祉センター 4階 シアタールーム | | | |
| 内 容 | 「読み書き」「計算」「すうじ盤」を使用した楽習や教室サポーターによるおもてなしと交流 | | | |
| 対 象 者 | 市内在住の65歳以上のかた | 定 員 | 先着30人 | |
| 参 加 費 | 9,200円(月額2,300円×4か月) | | | |
| 申し込み方法 | 社会福祉協議会に電話か直接 | 申し込み期限 | 9月15日(金)まで ※土・日・祝日を除く | |
| そ の 他 | ご自身の変化を確認するため、受講前と1月の教室時間内に、脳の健康チェックテスト「あたまの元気まる」を受けていただきます。 | | | |

赤い羽根協力店を募集します

10月1日から始まる赤い羽根共同募金の一環として、募金箱の設置などにより、募金活動にご協力いただける「赤い羽根協力店」を募集しています。

○ご協力いただく内容

- ①募金箱を年間通して設置
- ②店頭に「協力店」のステッカーを表示
- ③10月1日から翌年3月31日までの共同募金期間中にポスターを掲示



○申し込み及び問い合わせ先 尾張旭市共同募金委員会 Tel.54-4540

赤い羽根協力店の紹介 (順不同・敬称略)

現在、ご協力いただいています協力店は次の店舗です。

【旭前町】

- ・竹亭
- ・イーストヒル

【新居町】

- ・四季亭 尾張旭店
- ・かつ星
- ・ピッツェリア・マリノ 尾張旭店
- ・珈琲屋らんぷ 尾張旭店

【印場元町】

- ・かつ雅 尾張旭店
- ・喫茶 棒の手
- ・諭吉のからあげ 名古屋本店

【上の山町】

- ・鈴松 本店

【大字新居】

- ・ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場

【柏井町】

- ・さもと館

【北本地ヶ原町】

- ・台湾料理萬来館 晴丘店

【三郷町】

- ・秋田屋呉服店
- ・有限会社 サカエ

【渋川町】

- ・ハンプティアー・ダンプティアー
- ・ベッセル
- ・南風 尾張旭店

【城山町】

- ・旭城レストハウス

【瀬戸川町】

- ・ジョブウェル

【東栄町】

- ・モスバーガー 旭三郷店
- ・ル・モンド

【西大道町】

- ・活人堂

【西山町】

- ・英 四軒家店

【東大道町】

- ・あいち尾東農業協同組合 尾張旭グリーンセンター

- ・カメヤマ酒店

- ・おり紙・和紙の店 ふた美

- ・カフェ&パスタ パパス

- ・台湾料理萬来館 本店

- ・ぱんやさんkiki

- ・コメダ珈琲店 尾張旭店

- ・ベーカリーレストランサンマルク 尾張旭店

【東本地ヶ原町】

- ・江戸芝鮎

【南新町】

- ・喫茶 サーモン

【南本地ヶ原町】

- ・高砂ベルシュ

- ・ゆで作

【東大久手町】

- ・支留比亜珈琲店 森林公園通り店
- ・やきとり大吉 名鉄三郷店

こんなとき、こんなお金をぜひ、社会福祉協議会へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき ○会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部 ○同窓会等の残金、各種チャリティーバザー

善意のご寄付ありがとうございます

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられています。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

■一般寄付

3月1日～6月14日 (順不同)

| 寄付者名/寄付金額(単位:円) | |
|-----------------|---------|
| 旭台シニアクラブ 様 | 3,365 |
| 尾張旭市ゴルフ協会 様 | 56,000 |
| 名古屋ヤクルト販売株式会社 様 | 42,744 |
| 匿名(7件) | 249,933 |

■物品寄付

| 寄付者名/物品名・数量 | |
|-----------------|-------------------------|
| 白鳳校区社会福祉推進協議会 様 | 車いす2台 |
| 浅野 淳夫 様(新居町) | 紙おむつ8袋 |
| 真地 貞充 様(旭ヶ丘町) | 紙おむつ4袋、尿とりパッド2袋 |
| イトーヨーカドー尾張旭店 様 | 雑貨13点 |
| 柿本 美和子 様(南原山町) | 紙おむつ4袋、尿とりパッド10袋 |
| 那須 洋 様(狩宿町) | 紙おむつ4袋、尿とりパッド11袋 |
| たいようの会 様 | ぞうきん50枚 |
| 匿名(9件) | 車いす1台、紙おむつ43袋、尿とりパッド12袋 |

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。

社協だより春号 掲載記事の訂正とお詫び

社協だより春号(令和5年4月1日発行)に掲載しました「善意のご寄付ありがとうございます」の記事で、一部法人名に誤りがありましたので訂正し、お詫びいたします。

誤 「天理教三乃分協会」

正 「天理教三乃分教会」

「社協だより 尾張あさひ」 【広告掲載のご案内】

社会福祉協議会の広報紙「社協だより 尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか?

令和5年度秋号(10月発行)に掲載の広告を募集します。

広告の掲載は有料です。広告掲載に関する詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 **社会福祉協議会**
電話 54-4540

※広告の1枠の大きさは、縦6cm、横8.5cmです。ただし、2枠、4枠分の大きさで掲載することもできます。